

【2024（令和6）年度入学生用学生便覧（抜粋）】

博士学位論文（教育科学専攻に関する記載範囲は主に赤矢印のとおり

IV 大学院学生の履修等について

2 教育科学専攻課程博士論文作成・指導計画プログラム

(1) 一般（アカデミック・ディグリー・プログラム, Ph. D. プログラム）

この表の他に、学生便覧の「教育発達科学研究科学位（課程博士）審査内規」と「博士後期課程における研究指導及び単位等の認定並びに論文の提出に関する内規」をよく読んで理解しておくこと。また後期課程において単位等の認定を受け学籍がない者も、後期課程進・入学後6年以内であれば、本プログラムに準じた指導を希望することができる。

※については、2010年度以降～2017年度以前の入・進学者に適用。

段階	期日	具体例	博士論文作成計画	博士論文指導計画
			○以下に先立ち、「受講科目届」および「大学院研究指導願・学修計画」を提出	※正指導教員は、該当する学生に対し、第二外国語の学修計画を指導
プロポーザル段階			○「博士論文研究計画」の執筆 （「博士論文研究計画」の提出を5月に行う予定の者は、年度当初に「教育科学研究Ⅰ」の履修登録をすませる。）	◎「博士論文研究計画」の指導
	5月末日	D1・5月	○研究計画を専攻事務へ提出	
			○「博士論文構成概要」（プロポーザル）の執筆	◎研究計画に基づき正指導教員が複数の研究領域から2～3名の論文指導教員を依頼 ◎専攻担当者会議で承認を受ける。 ◎論文指導教員団は「博士論文構成概要」（プロポーザル）の指導、※及び該当する学生に対し第二外国語学修の指導
	D1の9月以降は随時	D1・9月	○4000字程度の「博士論文構成概要」（プロポーザル）を提出（★その構成には、紀要論文・レフェリーつき学会誌論文の投稿計画が含まれていること。）	
			○審査のための面接（口述）を受ける。 ○公開発表会で博士論文構成概要を発表	◎論文指導教員団が書類審査および面接（口述）を行い、指導の上、「博士論文構成概要」を専攻担当者会議で承認する。 ◎指導教員団全員の署名捺印のある「審査報告書」を付して、正指導教員が専攻担当者会議に提出し、同会議で承認を得る。 ◎公開発表会の開催
執筆段階			○博士論文の執筆（★原則として採録もしくは採録決定された「レフェリーつき学会誌論文1編以上」が内容として含まれていること）	◎博士論文の指導
	9月	D3・9月	研究科委員会で「研究指導の認定」を受ける。	
学位審査段階	「研究指導認定」の翌月	D3・10月	○論文を正指導教員に提出し、専攻担当者会議で承認後、本人がただちに学位申請手続き（正式の提出）を行う ¹ 。	◎正指導教員は、専攻担当者会議にて、論文の内容、レフェリーつき論文の有無、※及び第二外国語学修状況を報告し、学位申請の承認を得る。 ◎研究科委員会で「学位審査委員」を選出（「学位審査委員会」の決定）
			○「論文審査」の過程で学位審査委員会による必要な指導を受けて、「口述試験」までに「論文（最終版）」を提出 ○口述試験を受ける。 <博士学位の取得>	◎学位審査委員会は口述試験を実施し、主査は「論文審査の結果の要旨」にまとめ、研究科委員会の1週間前までにビズリーチ・キャンパス名大（文系教務課窓口）に提出 ◎研究科委員会で学位授与について審議の上、投票を行う。

¹ 「教育発達科学研究科学位（課程博士）審査内規」第3条参照。

IV 大学院学生の履修等について

1) 指導計画・作成プログラムについて

- ① 本プログラムは、課程博士学位の取得促進を目的として平成8年度入・進学博士後期課程学生から適用することを目的に設定されたものである。
- ② 「具体例」の欄は、3年間で取得する場合について例示したものである。
- ③ これ以外の2年間あるいは1年間で取得する特例的な場合についても、論文提出年度の9月に研究指導認定を受ける必要がある。したがって、当該年度初頭に、「教育科学研究Ⅰ～Ⅲ」のうち未修のものについて履修登録をしなければならない。
- ④ 博士論文審査はかなりの時間を要する。提出が10月以降になった場合は年度内に授与される可能性はほとんどないので注意すること。
- ⑤ 2010年度以降～2017年度以前入・進学者で、それ以前に後期課程入学試験で受験した以外の外国語（自国語以外）を6単位以上取得していない者は、博士論文の提出までに、所定の学修が求められる。該当するものは、指導教員と相談のうえ、6単位に足りない単位数に相当する授業を履修し、C（可）以上の成績を収めること（他専攻等履修願の提出は不要）。なお、高等教育機関以外での学習により、その外国語能力を証明できる者については、上記学修が免除される。
- ⑥ ⑤の第二外国語の取り決めについては、2018年度以降の入・進学者には適用しない。

2) 書類提出について

各書類は以下に示す雛形に従って作成し、提出に際しては正指導教員1名の署名・捺印を受ける。提出場所は、「博士論文研究計画」は教育科学専攻（教育学系）事務室、「博士論文構成概要」（プロポーザル）は正指導教員とする。（専攻主任はそれを集約して専攻担当者会議の議題とする。）

① 「博士論文研究計画」の提出

A4版2ページ（2000字程度）。研究テーマ、研究目的、研究内容、論文執筆年次計画、研究の特色・独創的な点、第二外国語の学修状況・計画を示すこと。

教育科学専攻 博士後期課程 「博士論文研究計画」

研究テーマ： 氏名 _____ 学籍番号 _____
1. 研究目的： 2. 研究内容： 3. 論文執筆年次計画： 4. 研究の特色・独創的な点： 5. 第二外国語の学修状況・計画※
正指導教員署名 _____ ㊟

※2010年度以降～2017年度以前入・進学者のうち該当する学生のみ記入すること。

② 「博士論文構成概要」（プロポーザル）の提出

A4版4ページ（4000字程度）。論文題目、研究目的、研究内容、論文執筆年次計画、研究の特色・独創的な点、論文構成（章立て）、予想される成果、既発表論文および投稿予定論文と論文構成（章立て）との関連、第二外国語の学修状況を明確に示すこと。

IV 大学院学生の履修等について

教育科学専攻 博士後期課程 「博士論文構成概要」(プロポーザル)

論文題目：	氏名 _____ 学籍番号 _____
1. 研究目的：	
2. 研究内容：	
3. 論文執筆年次計画：	
4. 研究の特色・独創的な点：	
5. 論文構成(章立て)：	
6. 予想される成果：	
7. 既発表論文および投稿予定論文と論文構成(章立て)との関連：	
8. 第二外国語の学修状況() ※	
正指導教員署名 _____ ㊟	

※2010年度以降～2017年度以前入・進学者のうち該当する学生のみ記入すること。

(2) 教育マネジメントコース(プロフェッショナル・ディグリー・プログラム, Ed. D. プログラム)

この表の他に、学生便覧の「教育発達科学研究科学学位(課程博士)審査内規」及び「博士後期課程における研究指導及び単位等の認定並びに論文の提出に関する内規」をよく読んで理解しておくこと。また後期課程において単位等の認定を受け学籍をなくした者も、後期課程進学・入学後6年以内であれば、本プログラムに準じた指導を希望することができる。

	期日	具体例	博士論文作成計画	博士論文指導計画
1	4月中旬 5月末	D1	<ul style="list-style-type: none"> ○履修計画の作成 (例) リサーチスキル, インターンシップ, 教育マネジメント研究特論Ⅰ, Ⅱなど ○研究計画 正指導教員の指導のもとに計画的な履修をすすめると同時に研究計画をたてる。 ○「大学院研究指導願・学修計画」の提出。提出先: 文系教務課。 ○「研究計画」の提出。提出先は教育科学系事務室, もしくは正指導教員。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研究指導教員の確認 ○履修計画の指導 ○研究計画の指導 ○6月の担当者会議で承認, また正指導教員を含む3名からなる指導教員団の承認。
2	4月中旬	D2	<ul style="list-style-type: none"> ○履修計画の作成 (例) 教育マネジメント特論Ⅲなど。 引き続き, 正指導教員の指導のもとに計画的な授業科目の履修, および研究をすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○履修計画の指導

IV 大学院学生の履修等について

3	4月中旬 随時	D3以降	○履修計画の作成 ○「博士論文構成概要」の提出。提出先は正指導教員。(D1, D2でも良い)	○履修計画の指導 ○「博士論文構成概要」を担当者会議で承認。 ○博士論文の指導
4	9月	D3 9月	○研究科委員会で「研究指導の認定」を受ける。	
5	随時	D3 10月	○博士論文の提出 ＜博士論文提出資格＞の承認のためには、以下の要件を満たすこと。 1) 研究科規程第3条に定める授業科目のうち必修科目を含む18単位以上の単位取得。 2) 原則として、紀要論文あるいはそれと同程度の水準の学会誌論文2編以上、もしくはレフェリーつき学会誌論文1編以上があること。(採録決定でも可) 論文は正指導教員に提出し、担当者会議で承認後、本人が直ちに学位申請手続き(正式の提出)を行う。 ○学位審査委員会による「論文審査」の過程で必要な指導を受けて、最終の「口述試験」までに論文(最終版)を提出する。	○論文指導教員団による博士論文提出資格審査(合判定)。→担当者会議で承認。 ○研究科委員会で学位審査委員の選出を行う。
6	随時		○口述試験	○審査結果は、主査(通常は正指導教員)が「論文審査の結果の要旨」にまとめ、研究科委員会の1週間前までに文系教務課に提出。研究科委員会で学位授与に関する協議の上、投票を行う。
7			○博士(教育)(Ed. D.)の取得。	

「研究計画」書式

教育科学専攻 博士後期課程 「研究計画」

研究テーマ：	氏名	学籍番号
1. 研究目的：		
2. 研究内容：		
3. 論文執筆年次計画：		
4. 研究の特色・独創的な点：		
正指導教員署名もしくは印鑑		

IV 大学院学生の履修等について

「博士論文構成概要」書式

教育科学専攻 博士後期課程 「博士論文構成概要」

論文題目：	氏名	学籍番号
論文概要：		
正指導教員署名もしくは印鑑		

